

## 心地よい排泄を目指して

### パット対応布パンツの導入

2丁目 ユニットリーダー 守屋しのぶ  
施設ケアマネ 飯塚明美

## ユニット紹介



- \* 男性2名 女性8名
- \* 平均年齢 81.0歳
- \* 平均介護度 3.9
- \* 経管栄養者1名

## 排泄ケアの取組

- \* 1、毎日の陰部洗浄
- \* 2、排泄毎の清拭
- \* 3、排泄チェック表を活用しトイレ誘導の実施
- \*

↓

\* **腹部臀部の皮膚疾患・陰部の疾患**

## ケアの見直し

↓

- \* ・オムツ、紙パンツによる**ムレ**
- \* ・オムツ、紙パンツによる**擦れ**

↓

\* 原因の1つと考える

## パット対応布パンツの導入

- \* 使用品
- \* **サルバ おしりピックリパンツ**
- \* 金額
- \* 1枚 ¥2625-



リブ編みと平編み、2つの構造でホルルド感とゆったり感を同時に実現！平編み（腹部ゆったり機能）

リブ編み（サポート機能）  
中央部パッドを股間部に持ち上げます。ソイ線パッドを両サイドから支え、足の動きによるズレを抑えます。前後下パッドを両サイドから支え、パッドのズレを防ぎます。

※写真はおしりピックリパンツのイメージです。 特許第4110311号 登録商標

## 対象者

- \* **Aさん** 79歳 女性
- \* 介護度4 日中トイレ誘導、夜間パット交換
- \* **Bさん** 85歳 女性
- \* 介護度5 日中トイレ誘導、夜間パット交換
- \* **Cさん** 82歳 女性
- \* 介護度4 日中トイレ誘導、夜間パット交換
- \* **Dさん** 90歳 女性
- \* 介護度3 昼夜トイレ誘導

## 導入方法

- \* ①1枚¥2,625—とコストがかかる為、相談員より家族への説明と購入許可をもらう。
- \* ②本人の同意を得て、リハビリパンツの使用をやめてビッタリパンツに変える。
- \* ③日中は排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を実施する。
- \* ④夜間は、ベッド上にてパット交換を行う。
- \* 尿意がある入居者様は、トイレ誘導を行う。
- \* ⑤排泄時、パット交換時は清拭を行う。
- \* ⑥1回/日は陰部洗浄を行う。

## 利用者の変化 Aさん

介護度4 日中トイレ誘導、夜間パット交換

- \* 2回/日の陰部洗浄後、両鼠径・陰部に軟膏塗布



- \* 1回/日の陰部洗浄、トイレ使用時の清拭
- \* 陰部の違和感の自訴のみ軟膏塗布



- \* **両鼠径部の圧迫感、痛みの消失**

## 利用者の変化 Bさん

介護度5 日中トイレ誘導、夜間パット交換

- \* 臀部に発赤・ただれあり
- \* 2回/日の陰部洗浄後軟膏塗



- \* 1回/日の陰部洗浄、トイレ使用時清拭
- \* 予防のため朝、タズノール塗布



- \* **ただれの臀部の発赤・消失**

## 利用者の変化 Cさん

介護度4 日中トイレ誘導、夜間パット交換

- \* 臀部広範囲に発赤あり
- \* 2回/日の陰部洗浄後、軟膏塗布



- \* 1日/日陰部洗浄、トイレ使用時に清拭
- \* 就寝時、便汚染時、発赤時のみアズノール塗布



- \* **「座っていて、お尻が痛くない。」**

## 利用者の変化 Dさん

介護度3 昼夜トイレ誘導

- \* 腹部にかゆみの訴え、掻き傷→腹部清拭後レスタミン
- \* 臀部、肛門部にただれ→2回/日陰部洗浄後軟膏塗布



- \* 1回/日の陰部洗浄、トイレ使用時の清拭
- \* 予防のため、朝、タズノール塗布



- \* **腹部のかゆみ訴え、掻き傷消失**

## 利用者の変化のまとめ

①腹部、臀部、鼠径部の皮膚疾患の軽減

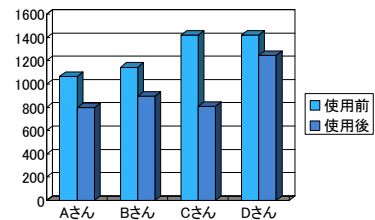
- \* **かゆみや発赤が少なくなる**
- \* ②布パンツを使用していることで自尊心が保たれる
- \* **笑顔が増える**
- \* ③トイレでの排泄回数が増えて尿汚染の減少
- \* **失禁での不快感の減少**

## 介護面での変化

- ①パット専用のパンツを使用することで、介助がしやすくなった。
- ・トイレ誘導時
  - ・パンツの上げ下げが楽
  - ・パットが挿入しやすくなった
- ・ベッド上での交換時
  - ・パンツが伸びるので短時間で交換できる
- ②ピツクリしているのを、横漏れ等での尿汚染の減少。

## コスト面での変化

リハビリパンツを利用しないことによるコストの削減



## 職員の変化

- \* ①正確にパットが当てられるようになる等の介護技術の向上
- \* ②排泄チェック表を読み取る力ができた。
- \* ③尿汚染が減少し、やりがいを持てるようになった



\* **職員の質の向上**

## その後の変化

- \* H24, 5現在
- \* ユニット入居者10名
- \* オムツ・リハビリパンツ使用者0名
- \* 要介護5で経管栄養の方も布パンツを使用

## デメリット

- \* 1、個人購入の為、家族への説明を行い購入の同意が必要となる。
- \* 2、高価なため、ご家族の負担が増加してしまう。
- \* 3、乾燥機の使用不可な為、ユニットでの手洗いをしているが手間がかかってしまう。
- \* 4、汚染した際、使い捨てができない。

## 今後の課題

- \* 家族の負担を考え、1枚の単価が安くなるように業者の検討を行い、少しでも安価で提供できるようにしていきたい。
- \* 排泄委員会で提案し、他ユニットでも何名かの入居者に導入しているが、積極的に施設全体で取り組んでいきたい。(施設全体での布パンツ使用者42名/70名)

